

(令和4年度第2次補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 **鎌ケ谷市** (都道府県: 千葉県)
 本事業の担当部局名 **総務企画部企画財政課企画政策室**

事業メニュー	結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり機運醸成事業				
区分	一般メニュー				
関連事業メニュー	3.1.4 ライフデザインセミナーの実施				
個別事業名	ライフデザイン事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間	交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度	令和元	年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	285,000				円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け)				
	<p><地域における実情と課題> 鎌ケ谷市総合基本計画前期基本計画では、少子化対策として重点プロジェクトを設定し、未来を担う子どもとその家庭の支援及び子どもを産み育てやすい環境を構築するため、①妊娠・出産・子育て期の家庭に対する施策の重点化②安全で安心な教育環境の確保③生きる力をはぐくむ特色ある学校づくりを推進し、子育て世代が「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりに取り組むこととしている。 また、鎌ケ谷市子ども・子育て支援事業計画においても、①すべての子どもが健やかに成長できるための支援②きめ細かな支援が必要な子ども・子育て家庭への支援③子どもを産み育てる家庭への支援④社会全体で”子育て”を支えるための環境整備に取り組むこととしている。 一方、地域の実情として、平成25年度の婚姻数520人、人口1,000人あたりの婚姻率4.8人、出生数878人、合計特殊出生率は1.33であったのに対し、令和元年度は、婚姻数549人、人口1,000人あたりの婚姻率5.1人、出生数688人、合計特殊出生率は1.22となっており、婚姻数及び婚姻率は増加傾向にあるが、出生数及び合計特殊出生率は減少傾向にある。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は若い世代の結婚、妊娠、出産への希望を叶える取り組みとして、若い世代に対し、早い時期から自分の希望に沿ったライフプランを考える機会を提供し、将来の不安を軽減できるよう、ライフデザイン教育を実施するものである。</p>				
	(本個別事業における現状と課題)				
	<p>ライフデザイン事業は、若者世代が乳幼児とのふれあいの中で、結婚や子育てなど、将来のライフデザインを希望を持って描く機会を提供することで、地域少子化対策に繋げる事業であるが、令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、中止となったため、令和5年度については、ウィズコロナの中においても、実施できる方策がないか、検討していく必要がある。</p>				
個別事業の内容 ※(注)3	(課題への対応)				
	令和5年度事業においては、乳幼児とのふれあいを前提に事業を検討していくが、新型コロナウイルスの感染拡大状況等を踏まえ、ワークショップや報告会にするなど実施方法を検討していく。				
	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	①市内の小中学生および高校生を対象とした乳児ふれあい体験事業を伴うライフデザイン教育	市内小中学校や教育委員会と連携し、子どもたちの発達段階に応じた、命の大切さや心身の変化について学習するとともに、未来を描くことにも触れライフデザイン教育を行う。併せて、市内1中学校において乳児とのふれあい体験を実施し、男女とも子育てへの理解を深める。 また、市内の県立高校2校において、仕事を含めた将来のライフデザインを描き希望をかなえられるよう、知識・情報の提供、啓発冊子を活用し考える機会を提供するとともに、乳児とのふれあい体験を通じて、より自身のライフデザインへのイメージを持てるきっかけづくりとなるよう教育を行うとともに、子育てへの理解を深める。 なお、乳児とのふれあい体験については、新型コロナウイルスの感染拡大状況等を踏まえ、ワークショップや報告会にするなど実施方法を検討していく。	○	○
2	②乳幼児健診等における事業周知・参加協力親子の募集	乳幼児健診や地域子育て支援拠点事業等の、乳幼児親子の集まる他事業において、周知用物品の配布等により本事業の周知と協力親子の募集を行う。 地域少子化対策重点推進交付金関係の他事業との連携や、鉄道メディアを活用して子育て環境のPR強化することで、参加協力親子の応募者数の増加に繋げていく。	○	○	
3					
【次年度以降に向けた事業の方向性】 若い世代への普及啓発効果をいきわたらせるため、乳児ふれあい体験事業を含めたライフデザイン教育を継続的に実施していく。					

【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】					
<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県 ライフプランを考える啓発プロジェクト 岡山県 「岡山県妊孕性等普及啓発標準プログラム」作成事業 文京区 文京ハッピーベビープロジェクト 					
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値	
	合計特殊出生率	%	上昇(令和8年度)	1.23(令和2年度)	
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績		
	合計特殊出生率		1.23(令和2年)		
	婚姻件数	件	427(令和3年)		
	婚姻率		4.0(令和3年)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値	
	<アウトプット>				
	乳児ふれあい体験事業参加生徒数(中学校・高校分計)	人	720	786(R1実施時)	
	募集定員に対する参加者数の割合(参加対象生徒の出席率)	%	100		
	ふれあい体験事業参加協力親子数(実施各回平均)	組	23.5	23.1(R1実施時)	
	<アウトカム>				
	中学校・高校におけるライブデザイン教育を通じて「人生設計(ライフプラン)について考える機会を持てた」と感じる者の割合	%	80		
	中学校・高校における乳児ふれあい体験事業を通じて、「あかちゃんのいる生活について考える機会を持てた」と感じる者の割合	%	80		
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	令和5年度においては、県連携事業として、効果的な手法が無いのか検討を進めていく。また、千葉県で運用する「チーパス・スマイル(スマートフォンアプリ及びウェブサイト)」を活用し、事業の周知について、連携を図る。				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	無				

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。結婚新生活支援事業は、①のみ記載が必要。

①これまでの自治体における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情・課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

②本個別事業が継続事業である場合はこれまでの事業実施状況及びその中で見つけた課題(新規事業である場合は不要)

③本個別事業が新規事業である場合は地域における実情と課題への対応、継続事業である場合は本個別事業における現状と課題への対応

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和5年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。